

(2) FD 特別講演会の実施

以下の2つのFD講演会特別講演会を実施した。

1. 第1回 授業改善FD講演会

次世代型研究・教育の創造に関するオープン・ディスカッション

～数式処理ソフトウェア Mathematica の実践的応用を例として～

Open Discussion on Next-Generation Scientific and Engineering Education using MATHEMATICA

日 時:平成 25 年 11 月 19 日(火)14:30～17:30

会 場:全学教育棟 E 棟 107 講義室

主 催:自然科学研究科・理学部・工学部FD委員会

プログラム:

Mathematica の概要とものづくりへの応用について(ウルフラム・中村英史氏)

企業の研究開発における Mathematica の利活用 - 音響工学研究を例として -

(株)TOA:福山和男氏)

理工系のための辞書を内蔵した新しい紙と鉛筆, Mathematica

- データ処理と回路解析から見た Mathematica の魅力 - (九大:笹田一郎氏)

直ぐに使える Mathematica 関連サイト(ウルフラム・中村英史氏)

次世代を担う科学者・工学者には、個々の専門分野の深化とともに、従来にない学際領域への進出や未知フィールドの開拓が求められる。その際に強力な武器になるのは、全分野の基盤となる基礎数学、応用数学、情報処理技術を使いこなすチカラである。熊本大学で利用可能な数学解析・情報処理ソフトウェア Mathematica の実践的利活用の実際例をご紹介いただき、次世代型理工系教育の実践を具体的に考える機会とするFD講演会を開催した。

2. 「第2回 授業改善FD講演会」

日 時 : 平成 25 年 12 月 10 日(火) 10:20 ～

会 場 : 2号館 2F 221 教室

講 師 : 石川 純一 氏 (株)リアセック 主任研究員

主 催 : 工学部授業改善・FD委員会・自然科学研究科授業改善・FD委員会

工学部3学科3年生の一部を対象に実施された PROG テストの結果を他大学等の結果と比較しながら解説していただく講演会を開催した。PROG テストとは、河合塾と(株)リアセックが共同開発した、専攻・専門にかかわらず、大卒者として社会で求められる汎用的な能力・態度・指向(ジェネリックスキル)を、知識を活用して問題解決する力(リテラシー)と、経験を積むことで身についた行動特性(コンピテンシー)の2つの観点から測定するテストである。